

もくじ

- ◆ 会長挨拶「会長就任にあたって」

EWE 会長 松山 泰男

- ◆ 2019 年度 総会報告

- ◆ EWE ホームカミングデー開催のお知らせ

- ◆ 新任教員挨拶

情報理工学科/情報理工・情報通信専攻 教授 シモセラ・エドガー

- ◆ 地方本部だより

東海地方本部

- ◆ クラス会だより

電気工学科 1956 年（昭和 31 年）卒クラス

会長挨拶

「会長就任にあたって」

「会長就任にあたって」

EWE早稲田電気工学会

会長 松山 泰男



このたび、2019年の通常総会におきまして、早稲田電気工学会(EWE)の第58代会長を仰せつかりました松山泰男です。Webサイトは、<http://www.f.waseda.jp/yasuo2/professor.html> です。どうかよろしくお願い申し上げます。

私は、学部卒業は1969年、そして博士課程修了(電気工学専攻)は1974年です。当時、EWEは電気工学科と電子通信学科という2学科から成っていました。現在はそれが発展して、学部としては4学科になっています

(<https://www.waseda.jp/fsci/about/future/>)。この間、今も記憶に残っているのは、配布されていた早

稲田電気工学会誌に研究論文が載っていたことです。そのようなこともあって、EWE会報の起源を調べてみました。第1号は大正2年6月発行(1913年)となっています。以来、EWEには豊かな逸話が数多く伝わっています。そこで、その一端をご紹介します。

一つ目は、明治41年(1908年)に電気科が機械科と共に設置された時、私学としては唯一、恩賜金を基本として設立されたということです。このことは、私自身が学生の時にはまったく知らされていなかったことです。それならば、もっとnoblesse obligeを感じてふるまうべきだったと、今になって反省している次第です。

二つ目は、傑出した先達に関する話です。私はいくつかの経歴を経た後、1996年に本学に着任しましたが、その直後に年配の先生から、「実は、ソニー創業者の井深さんの始末書が、研究室で申し送りされている」という話を伺い、お願いしてそれを見せていただきました。それは、井深さんが電気科第2分科3年生の時のもので、『本弱電実験室備付ケノ「ハネカ

ムコイル」ヲ不注意ニヨリ焼損仕候事何トモ申譯ケ無之候...』という文語体の詫び状を、特上紙に毛筆でしたため、共同実験者および保証人と共に署名・捺印したものでした。これは、おそらくご当人たちが非常に冒険的な実験を試みた結果だったのだろうと解釈しています。このことは、歴史的人物に関する逸話であり、そしてわれわれ後進をむしろ元気づける話題であろうと思っております。そしてこれには、少し因縁めいた後日談があります。当時、その始末書を井深さんにお見せして反応を拝見しようと計画していたのですが、この始末書が再発見された直後に、残念ながら井深さんはご他界されました。

本学の EWE は、上でお話したように豊かな歴史を有していて、OB・OG には多様な学芸において傑出した方々が他にも数多く現れています。今後もますますそのようになるであろうと期待できます。ただし、一つだけ危惧があります。それは、「才能のあり余る人は、科学技術の神々(muses)に愛され過ぎないように気を付けなければならない」ということです。以下で、直接に経験した例を挙げてみましょう。

それは、現在進展が急である深層学習(deep learning)の元になっている誤差逆伝播法(back propagation)のアルゴリズムを作り上げた人として有名な、David Rumelhart についての話です。今から約 25 年前のことですが、スタンフォード大学の同門ということもあって、特別に、彼の研究室において一対一で会ってくれました。話が進んでいった時、彼は、「ヤスオ、俺の脳はもうじき溶けてしまうので長くはないのだと、医者に言われている」と、突然言い出しました。体格の良いその姿を見ていた私は驚きましたが、あまり深刻にはとらえずに、「医者の見立てには false positive があるよ」と言ってその場を取り繕いました。しかしながら、この脳そのものを研究する偉大な学者の脳は、その通りになってしまいました。このような話は、別の原因によるものですが、女性で唯一の若きフィールズ賞受賞者にも起きていました。

さて、重い話はここまでにして、EWE の方に話を戻しましょう。会としての EWE の活動は、ややもすると会員の皆様には見えにくいという声があります。このことについては、代々の反省点として伝わっております。近年、教員筋の EWE 会員の方々が、まさしく先端的な講義をネットで公開しています。こういうことも含めて、EWE の活動を世の中によく知っていただけのように努力していきたいと考えております。このことは、もとより会員の皆様、会長代理、副会長、理事、評議員、幹事、そして会の実務を支えている事務局が一体となって取り掛かることにより、可能となります。今後とも、EWE へのご支援とご鞭撻をお願い申し上げます。

2019年度 総会報告

2019年度 総会報告

《定時評議委員会・通常総会》

日時：2019年5月17日(金) 18:00～19:00

場所：西早稲田キャンパス63号館1階 ロームスクエア

出席者 44名(内評議員19名)、評議員委任状提出者 62名

定数に達し、評議員会ならびに総会は、成立となった。

【議事】

1. 会長挨拶 横井亮介会長
2. 定時評議委員会の議題
 - (1) 評議員の委嘱 牛久保 宏徳 理事 (庶務)
 - (2) 2018年度事業経過報告 如澤 裕尚 副会長 (事業)
 - (3) 2018年度収支決算報告 木村 俊二 副会長 (会計)
 - (4) 2018年度会計監査報告 谷井 孝至 監事
 - (5) 2019年度事業計画案 如澤 裕尚 副会長 (事業)
 - (6) 2019年度収支予算 木村 俊二 副会長 (会計)
 - (7) 早稲田電気工学会規則一部改正について 牛久保 宏徳 理事 (庶務)
 - (8) 役員等の選任について 牛久保 宏徳 理事 (庶務)
3. 通常総会の議題
 - (1) 評議員会の審議事項の承認
 - (2) EWE 学生部会報告 石崎 雄太 学生委員長
 - (3) EWE 活性化委員会報告 矢幡 明樹 活性化委員長
 - (4) EWE 三月会活動報告 唐澤 豊 三月会幹事
 - (5) 新会長挨拶 松山 泰男 新会長
 - (6) 新会長代理挨拶 佐藤 勝雄 新会長代理

議案はすべて原案通り承認され、報告事項はすべて了承された。

総会終了後、懇親会が63号館1階 ロームスクエア開催された。

尾崎元会長の乾杯で開会し、太田元事務局長の一本締めで閉会した。

定時評議委員会・通常総会・懇親会風景





2019 年度 EWE ホームカミングデーのご案内

2019 年 9 月 吉日
EWE 会長 松山 泰男

拝啓

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃より EWE の活動にご理解・ご協力を賜り、御礼申し上げます。

さて、EWE では、卒業生の皆様の交流を一層深める企画として、今年度も下記の通り EWE ホームカミングデーを開催いたします。

昨年同様全卒業生を対象に実施いたしますので是非ご出席いただけますよう、よろしく
お願い申し上げます。また、在学生によるポスター発表もごぞいます。卒業生との議論
の輪を拡げて頂きたいと思ひます。

明るい時間帯にキャンパスにお集まりいただき、年次、研究室の枠を超えて旧交を温めていた
だけるよう、簡単なお飲み物と軽食を準備いたします。この EWE ホームカミングデーの集いを
気軽な一次会と位置付けていただき、その後先生方を囲んでの同窓会を各研究室単位でご企画
いただければと考えています。

先生方の研究室の卒業生の皆様にお声がけいただきたいと存じます。また、既に退職された先
生方も本企画にご参加いただきたいと思ひます。

今後とも、EWE の活動にご支援を賜りたく、宜しくお願ひ申し上げます。

記

1.日 時 2019 年 10 月 12 日 (土) 15:00~17:00 (受付開始: 14:30)

2.会 場 早稲田大学 西早稲田キャンパス 63 号館 1 階ロームスクエア
<https://www.waseda.jp/fsci/access/>

3.会 費 2,000 円 但し、学生無料
※簡単なお飲み物と軽食を準備いたします

4.事前登録

準備の都合上、10 月 4 日(金)迄に、

①お名前 ②卒年/学科・専攻 ③研究室 ④メールアドレス を明記の上、
EWE 事務局イベント係 event@ewe.or.jp 宛までお申込みください。

*当日受付も承ります。

5.お問合せ EWE 早稲田電気工学会 事務局 電話：03-3232-9768

メールアドレス jimukyoku@ewe.or.jp

以上

EWE ホームカミングデー
2018 年度風景





新任教員挨拶



2018年9月に基幹理工学部

情報理工学科に着任いたしました。どうぞよろしくお願いたします。

私は、両親はスペイン人でアメリカで生まれ11歳までアメリカで生活し、11歳から27歳までを主にバルセロナ スペインで過ごしました。スペインでは、BarcelonaTech 大学で学士号と博士号を取得しております。学部では工学を専攻しましたが、博士課程に入ってからコンピュータビジョン及び機械学習に専念しました。博士取得後に来日し、2015年から2018年まで早稲田大学で研究員助教及び研究員講師として勤めました。2018年から半年は間科学技術振興機構のさきがけ専任研究員として、研究を中心に勤めてまいりました。この度、早稲

田大学に専任教員として着任し、教育の立場から早稲田大学の貢献できることを大変うれしく思っています。

人間のクリエイティビティによって飛行機がデザインされたり、イラストレーションを描かれたり、音楽が作譜されたりします。これらの支援するために、機械学習、コンピュータビジョンとコンピュータグラフィックスを用いた研究を行っています。この研究は様々な活用方法があると思いますので、早稲田大学生と一緒に社会に貢献できるように取り組みたいと考えています。

参考 URL

研究室 <https://esslab.jp/>

個人的 <https://esslab.jp/~ess/>

略歴

2011年 BarcelonaTech 工学科卒業、2015年同大学で Ph. D. を取得。博士課程中に豊田工業大学シカゴ校、トロント大学と東京大学に研究滞在。2015年8月より早稲田大学に勤務。2018年3月まで早稲田大学

理工学術院総合研究所の研究院講師。2018年8月まで科学技術振興機構のさきがけ研究員。2018年9月から現職。機械学習を用いてコンピュータビジョンとコンピュータグラフィックスの大規模問題に挑戦中。

地方本部だより

東海地方本部だより

東海地方本部では、去る6月12日（水）に東桜会館にて2019年度の総会を開催いたしました。EWE本部より松山泰男 会長をお招きし、地方本部からは21名の会員にお集まりいただきました。

総会は、内藤雄順 本部長（1976 電）の開会挨拶に始まり、松山会長よりご挨拶をいただきました。ご挨拶の中で、松山会長から、早稲田電気工学会EWEの活動、本年度の新体制、EWE賞の設立等についてご紹介いただき、歓談へと移りました。

最後は、恒例の「紺碧の空」「都の西北」の斉唱とエールを行った後、下村様（1988 電）の閉会挨拶があり、盛況のうちに閉会となりました。

ご出席賜りました松山会長、ならびにご協力いただきました EWE 本部の皆様には厚く御礼申し上げます。

東海地方本部では、今後も定期的に総会を開催し、企業や世代の枠を超えて交流を深めていきたいと考えております。電気を学んだ者同士、近況報告や思い出話に花を咲かせるのは楽しいものです。東海地方にお住まいの方は、是非一度総会にご参加ください。ご連絡をお待ちしております。

東海地方本部 連絡窓口

E-mail: kawaura.yuuki.pwrs@gmail.com

（記 中部電力 川浦 裕貴）



クラス会だより

電気工学科 1956年（昭和31年）卒クラス会

我々のクラス会は、参加希望登録者「EWE31 有志の会」にして、毎年開催している。

新宿の高層ビルトップにある中華レストランに集まり、昼食後の茶話会はその階下の眺めの良い喫茶室で行うのを通例にしていたが、令和元年5月15日のクラス会は、今年の幹事浦澤・示村両君の発案で、西早稲田キャンパスが未だ無かった時代我々が通った校舎があった、大隈公の銅像の在る懐かしの本部キャンパス近く、金城庵という蕎麦屋で開催した。

金城庵は学生時代、多くのクラスメートの落ち合う先であったのだ。場所は変わってはいなかったが、改装されたのか往時を思い出せなくなっている状態だったのは、経過した年数を考えれば当然の事か。変化が激しい時代を生き延び、存在し続けただけでも立派なもの。

「有志の会」に登録されている30名中、今回は15名の参加。卒業以来半世紀以上の63年が経過しても我々は、当時から今でも多士済々。学者、技術者は当然、詩人、マラソン選手、画伯、植木職、音楽家などの多選あり自認あり、昭和、平成を生き抜いて元気。会って話を始めれば耳が遠くなり大声で話しあう場となり、昔の面影が現れ賑やかな会話が弾んだ。

来年の幹事は峰村君、山本君と今年に引き続き浦沢君なので、この文を読み、久しぶりに参加してみようかと思った方々は、現在有志の会メンバーでなくても、下記に連絡を取り参加して貰いたいです。この世で会えるのは元気で集まれるうちですよ。

（増田 惇 記）

連絡先：峰村君・山本君・浦沢君

